

2021年度（令和3年度）
函館市西部地区再整備事業
町会活性化プロジェクト

実施報告書

2022年6月

函館市

都市建設部まちづくり景観課

市民部市民・男女共同参画課

目次

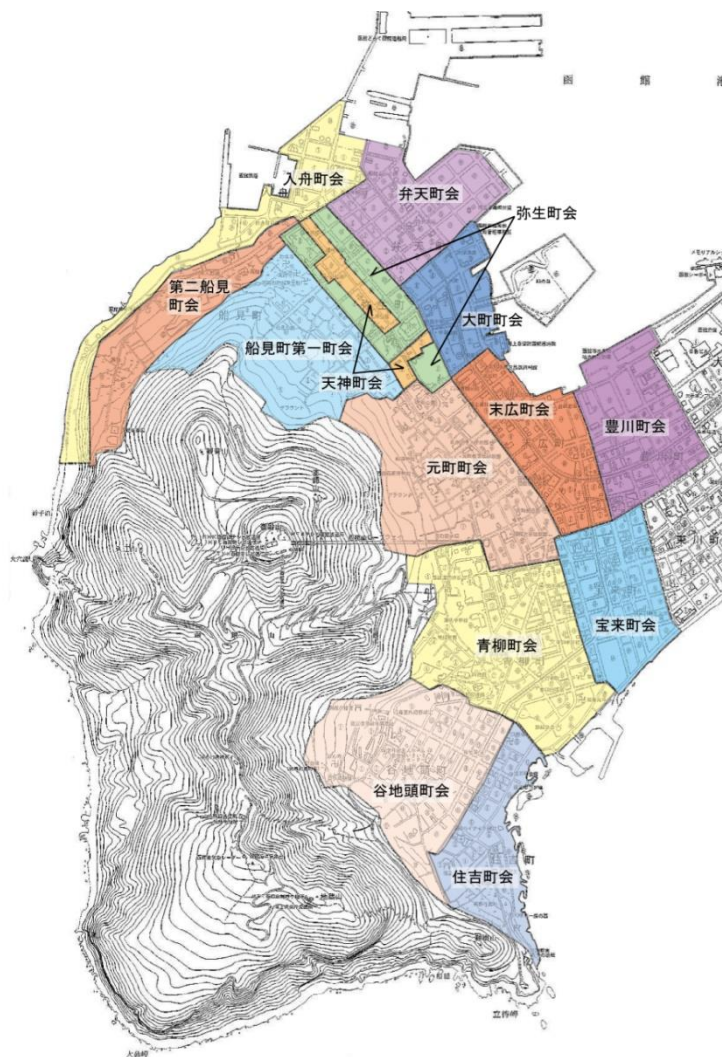
1. 町会活性化プロジェクトの概要と目的・・・・・・・・・・ P.1
2. 2020年度（令和2年度）の取り組み概要・・・・・・・・ P.2
3. 2021年度（令和3年度）の取り組み概要・・・・・・・・ P.2
4. 令和3年度の町会活性化活動の全体スケジュール・・・・ P.3
5. しゅくだいくらぶ・スマイルくらぶ・・・・・・・・・・ P.4～7
6. 近隣の公園での花植え・・・・・・・・・・・・・・・・ P.7～8
7. クリスマス会 in 弁天町会館・・・・・・・・・・・・ P.8
8. 『荘』プロジェクトメンバーによる弁天町会館活動報告会・ P.9
9. 2021年度（令和3年度）活動結果・・・・・・・・・・ P.9
10. 今後の進め方について・・・・・・・・・・・・ P.10

1. 町会活性化プロジェクトの概要と目的

町会活性化プロジェクトは、2019年（令和元年）7月に策定した函館市西部地区再整備事業基本方針の3つの重点プロジェクトのうちのひとつとして位置づけされている。人口減少や少子高齢化、町会加入率の低下などにより資金力や活動量が減少している町会の活性化を行うものであり、市職員や学生等の新たな人材が町会に深く関わり、状況分析と方策の検討を町会と協働で行いながら、町会の活性化に繋がる取組を進める。なお、本プロジェクトの対象町会は、基本方針の対象地区にある14町会とする。

対象町会：入舟町会、船見町第一町会、第二船見町会、弥生町会、天神町会、弁天町会、大町町会、末広町会、元町町会、青柳町会、谷地頭町会、住吉町会、宝来町会、豊川町会

合計 14町会



2. 2020年度（令和2年度）の取り組み概要

新型コロナウイルス感染拡大により、町会での継続的な取り組みは出来なかったが、「新たな人材との協働による町会活性化の推進」をキーワードに、令和3年度のプロジェクト実施に向けて新たな人材の発掘と、今後の進め方について意見交換を行い、町会・市職員が共に具体的な方策を検討する期間とした。

3. 2021年度（令和3年度）の取り組み概要

令和3年度は令和2年度の検討内容を踏まえて、新たな人材である『荘』プロジェクトメンバーの大学生と弁天町会の協力のもと、弁天町会館を中心とした子ども向けの勉強会「しゅくだいくらぶ」とボール遊びやボードゲーム等の遊びの場「スマイルくらぶ」を毎月2回程度継続して開催した。令和3年度の後期からは北海道教育大学函館校の「地域プロジェクト」とも連携し、弁天町会館でクリスマス会を行った。

4. 令和3年度の町会活性化活動の全体スケジュール

日程	内容
令和3年2月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・函館市西部地区町会活性化プロジェクト会議（令和3年度モデル町会が弁天町会に決定）
令和3年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・函館市西部地区町会活性化プロジェクト会議（令和3年度の活動内容について）
令和3年4月9日 " 23日	<ul style="list-style-type: none"> ・しゅくだい・べんきょう会（参加者7名） ・お楽しみ会（参加者5名）
令和3年5月14日 " 26日	<ul style="list-style-type: none"> ・しゅくだいクラブ（参加者5名） ・スマイルクラブ【緊急事態宣言で中止】
令和3年6月11日 " 25日	<ul style="list-style-type: none"> ・弁天幼児公園での花壇の花植え ・スマイルクラブ（参加者7名）
令和3年7月 9日 " 23日	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルクラブ（参加者2名） ・スマイルクラブ（参加者2名）
令和3年8月7・8日	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み特別企画の開催（親子 de お泊り会 in 弁天町会館, 避難所体験ほか）【感染防止のため中止】
令和3年10月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルクラブ（参加者7名）
令和3年11月11日 " 18日 " 25日	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルクラブ（参加者9名） ・西部地区再整備事業対象町会意見交換会 ・スマイルクラブ（参加者20名）
令和3年12月 9日 " 19日 " 23日	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルクラブ（参加者20名） ・クリスマス会（参加者12名） ・スマイルクラブ（参加者7名） ・令和4年度モデル町会の選定
令和4年1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・弁天町会活動報告会（参加者15名）
令和4年4月～	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度町会活性化プロジェクト始動

5. しゅくだいくらぶ・スマイルくらぶ

○目的

「一過性のイベントではなく、日常的にまちの人々と関われること」を目指した取り組みとして、『荘』プロジェクトメンバーのなかでも、弁天町に拠点を置いている「わらじ荘」(『荘』プロジェクトのシェアハウス)の住民の大学生らが中心となって、小学生を中心とした子ども向けに「しゅくだいくらぶ」(ドリルなどの勉強会)と「スマイルくらぶ」(ボール遊びやボードゲーム等の遊びの場)を企画し、弁天町会館で毎月2回程度継続して活動を行うこととした。

○情報発信

活動への参加者を集めるため、わらじ荘発行の「弁天だより」の配布や、弁天町回覧板(弁天ともしび)での案内、大学生による近隣の弥生小学校への訪問を通して、近隣住民への周知や小学生への呼びかけを図った。

弁天だよりと弁天ともしび

弁天だより 5月号

2021年5月のイベントスケジュール:

- 5月14日 (金)** しゅくだいくらぶ 15:00-17:00
- 5月28日 (金)** スマイルくらぶ 15:00-17:00
- 5月28日 (金)** わらじ荘 イベント

会場: 弁天町会館 (弁天町1-1-1)

弁天だより 6月号

このおたよりには、まちのイベントやお知らせが盛り込まれています。

まちのイベント

- 6/11 (金)** 弁天幼稚園にお花を植える会 15:00-17:00
- 6/25 (金)** スマイルくらぶ 15:00-17:00

お知らせ

- お花を植える会: 幼稚園の先生と一緒に、お花を植える会を開催します。
- スマイルくらぶ: 小学生を対象とした、ボール遊びやボードゲーム等の遊びの場を開催します。

会場: 弁天幼稚園 (弁天町10-1-1) / 弁天町会館 (弁天町1-1-1)

2021年(令和3)6月号 思いやりと支え合い、「笑顔」あふれる町づくり

弁天ともしび

発行所: 弁天町回覧板委員会 (弁天町1番4号 2F-8363)

【書と口の健康週間】(6月4日~6月10日)
2021 標語 「一生を共に歩む、自分の歯」
 歯周病が、糖尿病や心臓病など、全身の健康と深く関わっていることが知られてきました。大きな予防の前には、「まず歯科治療をしっかりと」することも重要です。専門医による治療、治療後もしっかりケアすることが大切です。歯の「口唇ケア」は私たちが思っている以上に大切のようです。就寝時に歯磨きしながら歯間ブラシや歯間、舌のチェック、舌ブラシでの舌苔(舌の汚れ)除去などは、歯周病予防や口臭の予防にも効果があります。起床直後の歯磨きは、寝やめた1日のスタートにつながる大切なことです。

6月4日からの「書と口の健康週間」をきっかけに、「新しい生活習慣」をスタートさせましょう。

新型コロナウイルス感染症
■予防の基本は「マスク」をしっかり!
 感染力が強い変異型の新型コロナウイルス感染症が国内で急拡大中。周囲でも今後注意です。予防策としては、手洗い、手指アルコール消毒の励行、外出時には、換気や密閉が難しいようには、マスクをしっかりと着けることに変わりはありません。そのうえで、市内で感染者が急増してきたら、できるだけ外出を控え、人との接触(3密)を避けること、想像力を高め感染リスクを下げる行動をとることが重要になります。

■65歳以上の方への新型コロナウイルス接種
 かかりつけのクリニックが接種できない時
 ・集団接種(予約専用) **830-6001**
 受付時間 平日 9時~17時
 夜間の予約受付 6月7日(月) 午前9時~
 ・ワタシ接種コールセンター(相談など)
0120-556-202
 受付時間 平日 9時~19時

「遺言書作成」ATM振込に注意!
 市内で「保険料の滞りがある」などと市職員を名乗って電話し、ATMから現金を振り込ませる遺言書詐欺被害が発生しています。「お金を遣えば新型コロナウイルスの接種予約ができる」という電話もあるようで、不審な電話には要相談です!
相談は 面談西警察署 42-1110

【後注】 新型コロナウイルスの接種が始まりました。接種がある方が健康に不安がある方で、接種した方がよいかどうか悩んでいる方も、接種後と重なるとは、普段診てもらっているかかりつけの医師に聞くのが一番です。「うちではワクチン接種はやりません」と言われても、市役所から相談することは全く問題ありません。相談しなければ接種の予約も取れないので、(1回)

回覧

このおたよりの印刷発行には、弁天町会館のご協力いただいております。

○活動の様子

コロナ禍での活動であったため、参加者には入室時に連絡先が分かるよう、名簿を記入してもらい、検温・消毒を行い、感染予防と対策を行った。

活動の際には自分が呼んでもらいたいニックネームの名札をつけることで、お互いに親しみを持って呼びかけ合えるような空間づくりを行った。



名簿を記入する様子



名札をつくる子どもたち

《しゅくだいくらぶ》

しゅくだいくらぶでは、子どもたちが学習したい教材や宿題を弁天町会館へ持ち寄り、大学生が中心となって、学習のサポートを行った。集まって学習することで、自然と参加者同士の会話が生まれるとともに、他の人の目があることで子どもたちが集中して学習に取り組む姿もみられた。



ホワイトボードに来ている大学生のことや、その日やることを荘プロジェクトメンバーが記入する。



大学生が中心となって学習のサポートを行う。





様々な学年が輪になって学習することにより、お互いに声を掛け合いながら、楽しく宿題やドリルを学習した。

《スマイルくらぶ》

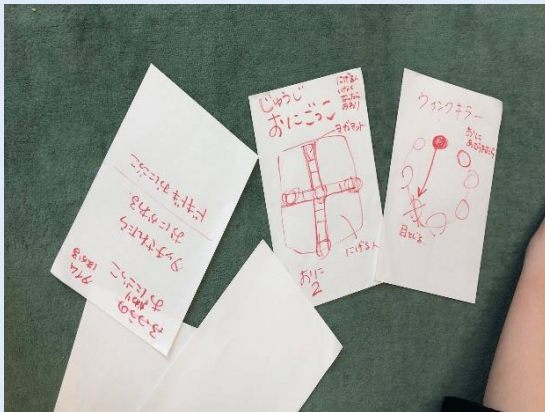
スマイルくらぶでは、子どもの遊びの場として、大学生と子どもたちが話し合って候補を出した中から、町会館内を使ってできる遊びを一緒に考えて遊んだ。



① やりたい遊びをおおまかに決める。
(おにごっこ、椅子取りゲームなど)



② ルールを付け加えた新たな遊び
を大学生と考える。



③ みんなで楽しめる新たな遊びを
作って、ルールを書き出す。



④ みんなで考案した新たな遊びをし
ている子どもたち。

人数が多い時には、ボール遊びや鬼ごっこなど身体を動かして遊ぶグループと絵やボードゲームなど落ち着いた遊びをするグループの二つに分かれて、遊ぶ様子も見られた。



大学生が持ってきた遊びをする様子



絵を描いている様子

6. 近隣の公園での花植え

令和3年6月11日に弁天幼児公園の入り口花壇で、弁天町会員、『荘』プロジェクトメンバー、地域の子どもたち5名と市職員が共同で、公共空間の美化意識向上と、世代間交流を深めるため、花の苗・野菜の苗を植えた。

町会の人たちや大学生の指導を受けながら、子どもたちの発想で工夫し、花壇にハート型に苗を植えるなど、充実した交流となった。



花の苗を植えている様子



ハート型に植えた花の苗



集合写真

7. クリスマス会 in 弁天町会館



スマイルくらぶの特別企画として、荘プロジェクトメンバーの呼びかけで北海道教育大学函館校の「地域プロジェクト」の学生と連携し、子ども向けのクリスマス会を開催した。

クリスマス会では手作りの函館弁かるた大会やイス取りゲーム、弁天町内を歩き回っての宝探し、手作りクリスマスリースの作成を行い、交流を深めた。



手作りの函館弁かるた



かるた取り



イス取りゲーム



クリスマスリースづくり

8. 『荘』プロジェクトメンバーによる弁天町会館活動報告会

大学生より、一年間の弁天町会館での活動のまとめとして、町民向けに活動報告を行った。

活動報告の中では、参加する子どもが回数を重ねるごとに次第に増えて、活動に手ごたえを感じたことや、近隣の小学校の先生から「放課後や休みの日はビデオゲームなど一人で遊ぶ子どもが多い中、子ども同士が学校以外で交流できる場を作ってくれたことが有難い」などの声が寄せられたことが報告された。

また、大学生目線の課題として、子どもたちとの関わりはつくることができたが、保護者や町民と関わる機会が少なかったことや、大学生が卒業等で入れ替わるなか、こうした活動を継続していけるのかなどの不安も話された。

報告後には、集まった参加者と今後の活動に向けての意見交換を行い、フィードバックを行った。



活動報告を行う荘プロジェクトメンバー



集まった参加者との意見交換

9. 2021年度（令和3年度）活動結果

弁天町会館において「スマイルくらぶ」と「しゅくだいくらぶ」を計13回開催し、新型コロナウイルス感染拡大の影響による中断や、予定していた特別行事の中止があったものの、一年を通して継続した取り組みを行うことができた。

こうした活動を重ねるなかで、継続して参加してくれる子どもたちが増加するとともに、最初は緊張した様子だった子どもが、次第に集まった他学年の子どもや大学生と打ち解けて遊ぶ様子が見られた。

今回の活動に来ていた子どもはほぼ全員が弁天町の近隣には住んでいるものの、弁天町会館には行ったことがなかったが、今年度の町会活性化活動により、大学生や子どもが親しみを持って、町会館に足を運びきっかけができ、当初の目的であった「一過性でない継続した町会での活動」を継続する基盤ができた。

10. 今後の進め方について

『荘』プロジェクトメンバーと協議の結果、令和3年度の活動に引き続き、主体となる大学生の負担が大きくなる範囲で、令和4年度も弁天町会館を活用した子ども向けの活動を継続して行うこととしたい。さらに、令和4年度は弁天町会の近隣の町会とも連携し、複数町会での幅広い活性化活動を目指すこととしたい。

また、令和4年度は新たなモデル町会として、青柳町会を選出し、活動していくこととしたい。

